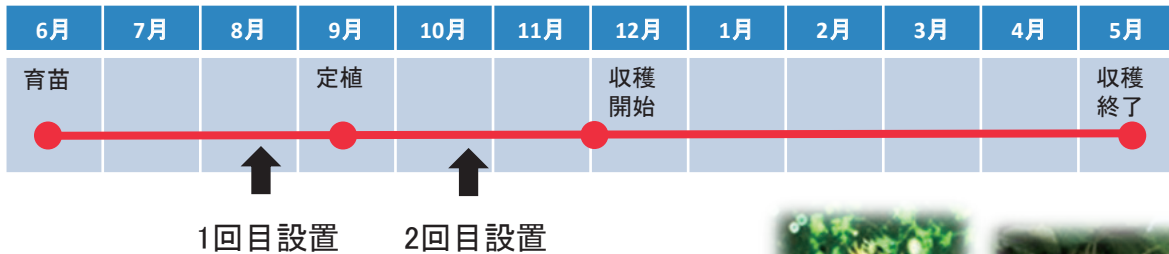


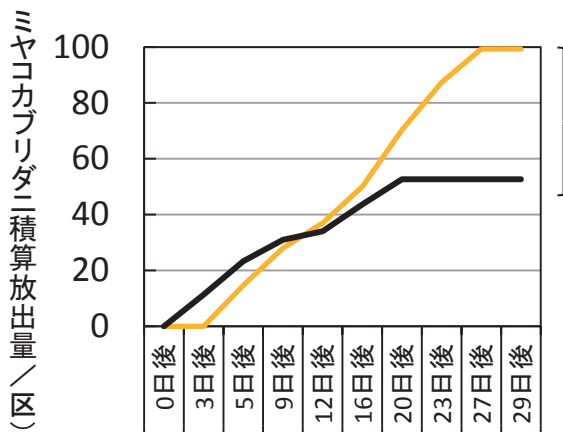
促成イチゴでのミヤコバンカーの使い方(福岡県)

ミヤコバンカーの導入時期(露地親株・育苗)

福岡県農林業総合試験場



特長①ミヤコカブリダニの保護効果が高い



放出量多い

- ◇ バンカーシートはミヤコカブリダニが増殖しやすい環境(温度や湿度)を提供するため、パック製剤を単独で使用するよりも、ミヤコカブリダニが多く放出される。
- ◇ バンカーシートのミヤコカブリダニの保護効果は1か月程度期待できる。

図.バンカーシートによるミヤコカブリダニの保護効果

注)1. ●:ミヤコバンカー区, ●:パック製剤(バンカーシート無)区
2. 福岡県農林試験場内試験(2014年)

特長②ナミハダニに対する防除効果が高い

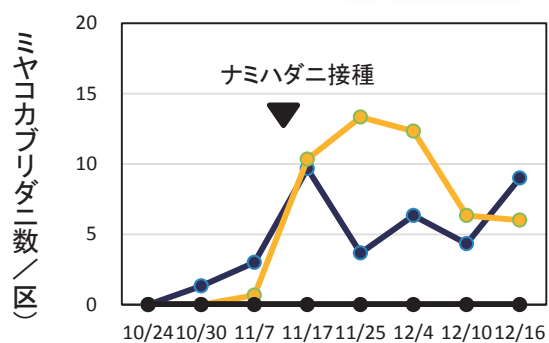
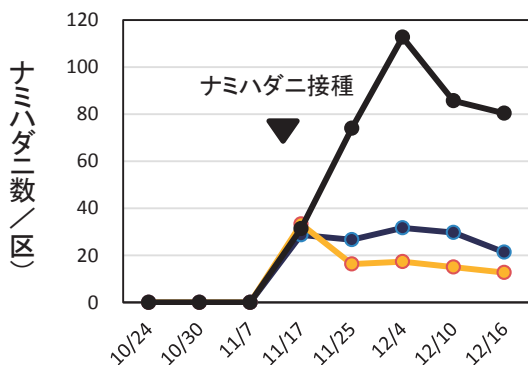
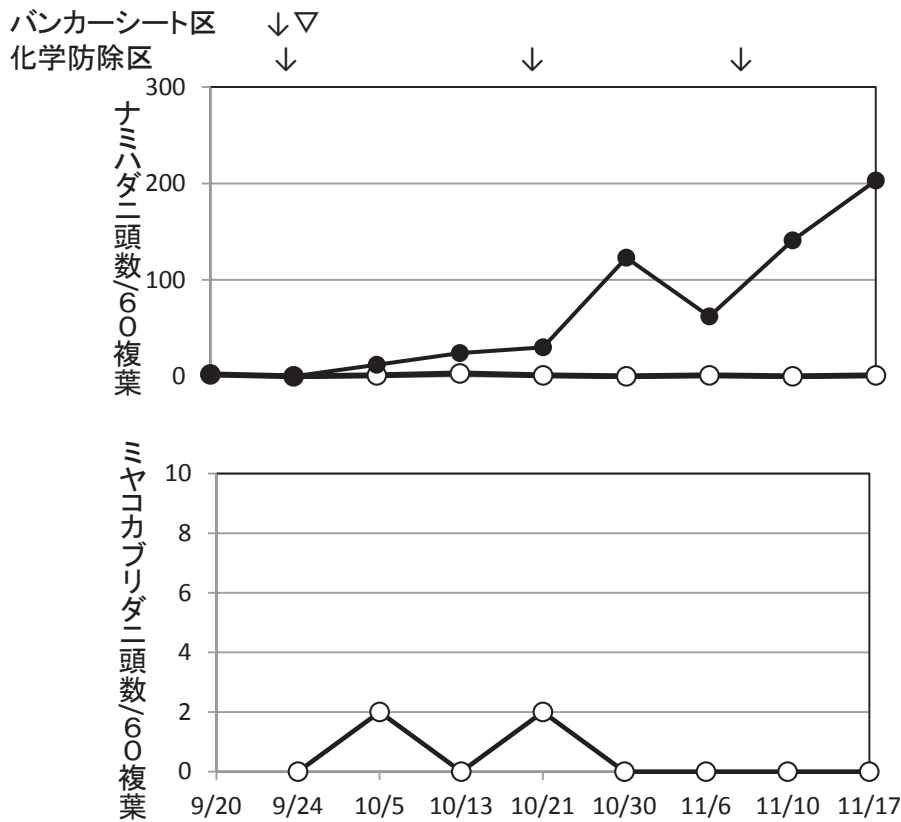


図.バンカーシートのミヤコカブリダニ保護によるナミハダニの密度抑制効果

注)1. ●:ミヤコバンカー設置区, ●:パック製剤(バンカーシート無)区, ●:無放飼区
2. 福岡県農林試験場内試験(2014年)

- ◇ バンカーシートによりミヤコカブリダニが安定して保護されるため、ナミハダニを接種してもすぐに天敵がイチゴ葉上で容易に観察され、ナミハダニの防除効果が得られる。

特長③ 薬剤感受性が低下したナミハダニに対しても有効



- ◇ ナミハダニに対する薬剤の殺虫効果低下は全国的に問題となっており、薬剤だけでは十分な防除効果が得られない。
- ◇ バンカーシートはミヤコカブリダニを維持できるため、ナミハダニに対して安定した効果が得られる。

図. バンカーシート利用によるナミハダニに対する防除効果 (2015年)

注) 1. 福岡県農林試験場内試験
2. ▽: バンカーシート ↓: 薬剤散布

育苗期での設置方法

ミヤコバンカー1個で70株のイチゴ苗をカバーできる

●9cmポリポット育苗の場合
千鳥状に配置した苗の間に入れる



●小型ポット育苗の場合
育苗パネルのポット穴に配置する



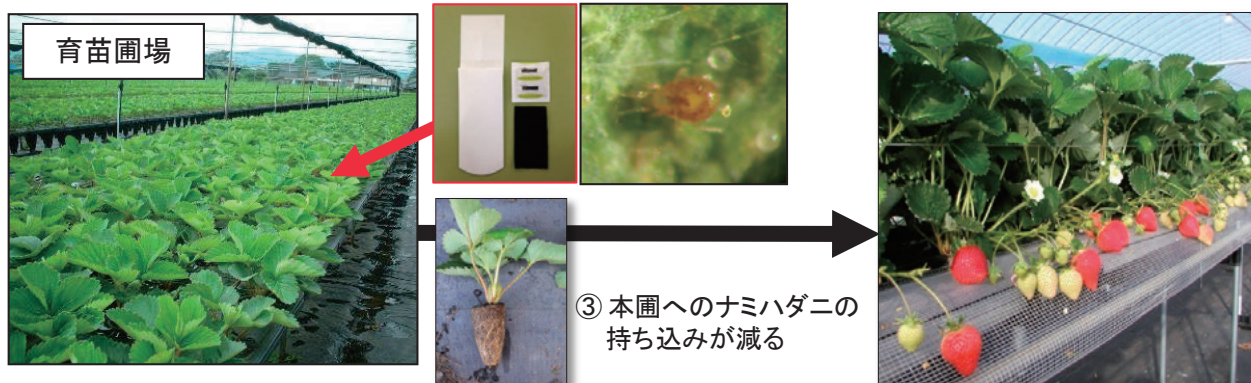
●小型ポット育苗の場合
竹串等でパネル上に固定する
(倒伏に注意)



図. バンカーシートの設置利用例

- ◇ 育苗期にミヤコバンカーを設置して、本圃へのナミハダニの持ち込みを減らす。
- ◇ ナミハダニはイチゴ苗に寄生して本圃へ持ち込まれるため、育苗期にミヤコバンカーを設置することでナミハダニを効率的に防除でき、本圃での被害抑制に繋がる。

①バンカーシート®を育苗期に導入する



② 天敵に影響のない薬剤を散布する

③ 本圃へのナミハダニの持ち込みが減る

④ 本圃でのナミハダニ防除が楽になる

【使用上の留意点】

- ◇ 盛夏期(最高気温が35℃以上)では、バンカーシート内温度が40℃以上に達し、ミヤコカブリダニの増殖に悪影響を及ぼす。そのため、西南暖地では、8月下旬以降の育苗期後半に使用するのが望ましい。
- ◇ 露地条件でもミヤコバンカーを使用できるが、台風による断続的な降雨の場合、シート内に浸水する可能性がある。台風による激しい降雨が予想される場合は、あらかじめミヤコバンカーを回収することが望ましい。

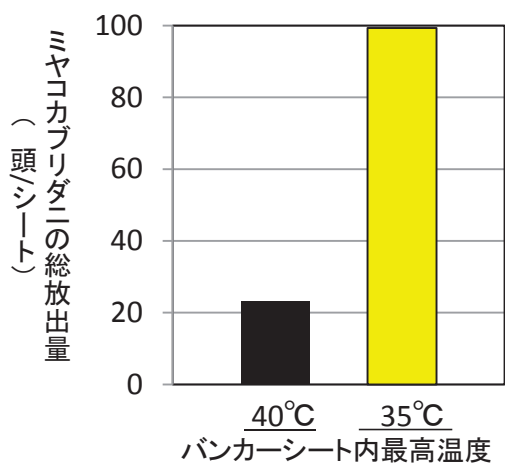


図. 高温時期の使用がミヤコカブリダニの放出量に及ぼす影響(2014年)

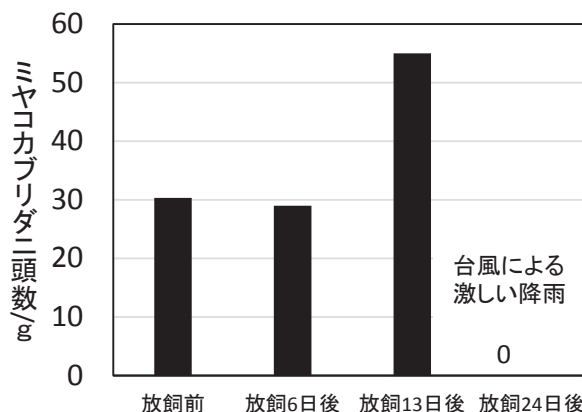


図. バンカーシート内に生息するミヤコカブリダニの推移(2016年)
注)パックを開封し、内容物1g中に生息するミヤコカブリダニを实体顕微鏡下で計数した

本圃での設置方法

●高設栽培の場合



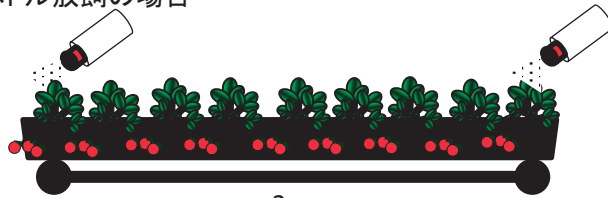
●土耕栽培の場合



【使用上の留意点】

◇ 本圃でのミヤコバンカーの設置間隔は、およそ6~8mとなるため、どうしてもナミハダニが発生しやすい箇所がでてくる。そのため、チリカブリダニ製剤や、選択的薬剤を組み合わせた防除を実施する。

●ボトル放飼の場合



➤ ボトル放飼を組み合わせる

バンカーシート®
天敵を圃場に長く維持させることができる
+

●バンカーシート®利用の場合

ハダニが発生しやすい

ボトル放飼
バンカーシート®の天敵の分散性を補える

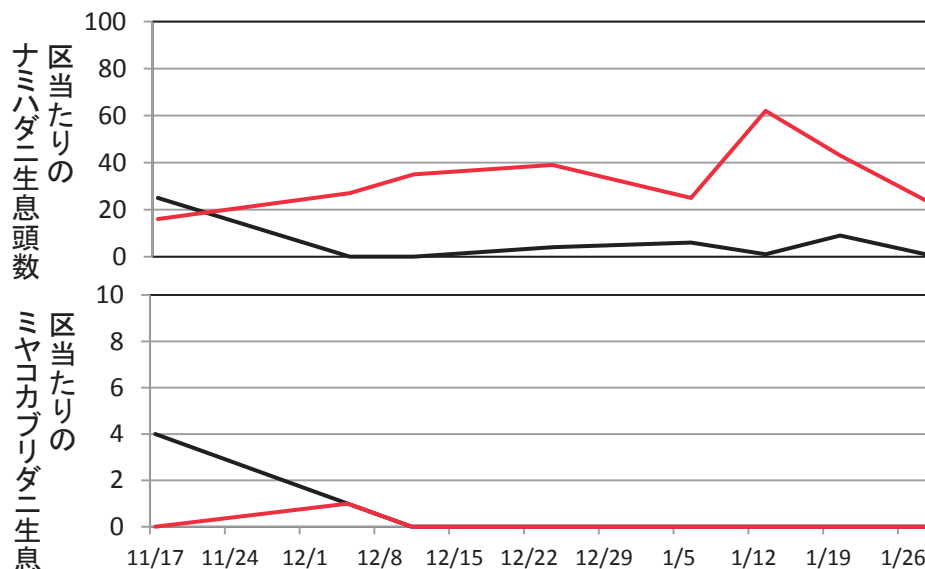
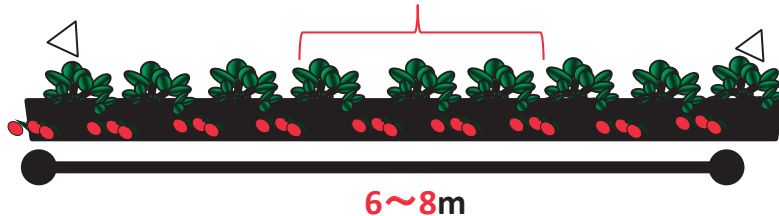
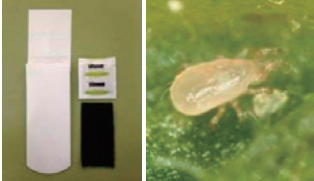




図. ボトル放飼との併用によるナミハダニに対する密度抑制効果(2014年)
注)1.11/14に各区に天敵を放飼し、その後360複葉を調査した

平成28年度全国版 いちごハダニ類（多発圃場）のIPM防除例

育苗期からバンカーシートを使ってハダニ類を上手にコントロールする

		育苗		定
		6~8月		9
天敵利用のポイント	<p>天敵に強い影響のある農薬は使用しない！ ★カブリダニに強い影響のある合成ピレスロイド、有機リン系、カーバメイト系殺虫剤は使用しない。</p>			<p>天敵導入前 ★天敵導入前は、 ★放飼前に必ず薬</p>
防除対策	<p>【使用する天敵製剤】</p>  <p>育苗圃と本圃 ミヤコカブリダニ</p>  <p>本圃 チリカブリダニ</p>	<p>ハダニ類を増やさない！</p> <p>バンカーシート設置前の防除徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロマイト水和剤 ・アフーム乳剤 ・カネマイトフロアブル ・モベントフロアブル(灌注) 	<p>・8月中旬</p> <p>ミヤコ・バンカーシート設置 100個/20a分苗</p>  <p>【バンカーシート設置の様子】</p>	<p>ハダニ類を</p> <p>定植前の防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダニサラバ ・スターマイ ・マイトコー
			<p>・8月中旬以降</p> <p>気門封鎖型薬剤を組み合わせることで上手に防除</p>	
注意点	盛夏期の高温時時期（7~8月上旬まで）ではバンカーシートを使用しないこと（シート内が			
その他病害虫	ヨトウムシ類	プレバソンフロアブル5、フェニックス顆粒水和剤、プレオフロアブル、		
	アブラムシ類	チェス顆粒水和剤、ウララDF		
	アザミウマ類	マッチ乳剤、カスケード乳剤、アタブロン乳剤、スピノエース顆粒水和剤		
	うどんこ病	ガッテン乳剤、プロパティフロアブル、アフエットフロアブル、フルピカ		
	灰色かび病	フルピカフロアブル、カンタスドライフロアブル、セイビアーフロアブル		
	炭疽病	アントラコール顆粒水和剤、デランフロアブル、ベルコートフロアブル、		

注）農薬を使用する際はラベルをよく読み、登録内容を遵守して使用してください

本圃							
植	マルチ・ビニル被覆	収穫					
月	10~11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月

はゼロ放飼を極力目指す！

ハダニ密度ゼロが理想的(ゼロ放飼の徹底！)
 剤防除を！

持ち込まない！	ハダニ類を増やさない！
除徹底 フロアブル トフロアブル ネフロアブル	・10月下旬(ビニル被覆後) ミヤコ・バンカーシート設置 100個/10a
	局所的に発生したハダニに対しては、 気門封鎖剤をスポット散布！
	・10月下旬(ビニル被覆後) ・12月下旬 ・1月下旬 チリカブリダニ 2000頭/10a 放飼
	年内に天敵に影響のない薬剤で防除！ ・ダニサラバフロアブル ・スターマイトフロアブル ・マイトコーネフロアブル ・気門封鎖型薬剤



高温になり、ミヤコカブリダニが増殖しにくくなるため)

トルネードエースDF、マトリックフロアブル

(天敵導入2週間後に使用)、ディアナSC (天敵導入2週間後に使用)

フロアブル、パンチョTF顆粒水和剤

20、ロブラール500アクア

オーソサイド水和剤80、ジマンダイセン水和剤、セイビアーフロアブル